

(地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

(認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

令和7年度 第6回運営推進会議 議事録

日 時：令和 8年 2月 19日 (木)

時 間：10:00～11:00

開催場所：櫻ホーム西神 4F 多目的室

出席者：別紙参照

1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。今年度最後の運営推進会議となります。第1回からご参加いただきありがとうございました。本日は、今年度の取り組みのまとめをさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

2 事業運営に係るご報告

以下、別紙(令和7年度第6回運営推進会議櫻ホーム西神)をもとに説明を行った。

(1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

① 稼働率 (P4)

資料に沿って現状の説明を行う。

ユニット型 12月 93.79%、1月 94.92%。地域密着型 12月 89.03%、1月 95.81%。合算 12月 92.90%、1月 95.19%。ショート合算 12月 94.87%、1月 96.32%。空床ショート利用率 12月 40.91%、1月 27.78%。目標を達成できなかった理由として、インフルエンザ感染等による入院が多かったこと。タイムリーな入居ができなかったことが挙げられる。

② ご入居者の概要 (P5～6)

資料に沿って説明を行う。

地域別では、地域密着型は神戸市在住の方のみとなっている。ユニット型は神戸市の方が58名で多く、次いで三木市17名。2/1時点で合計79名の方が入居されている。平均介護度はユニット3.87、多床室3.55となっている。全国平均介護度についてワムネットより記載させていただいている。(ユニット3.9、従来型3.98)

入居申し込み状況 (P7)

資料に沿って説明を行う。

2/1時点で、ユニット型 男性1名・女性3名、地域密着型 女性1名(現在ユニットで待機)の待機者となっている。待機者の平均介護度はユニット3.75、多床室4.0。平均年齢はユニット85.3歳、多床室86歳となっている。

③ 職員の動向 (P8)

資料に沿って説明を行う。

12月・1月の退職者はなし。1月に介護正規職員1名が入職している。

④ 事故・苦情の発生状況と詳細 (P9～13)

資料に沿って説明を行う。

(P9) 12月19件の事故があった。12/4車いすからのずり落ち。車いすに浅く座っていたため、座り直し・見守りを行って行く。12/16机の上のティッシュを口に入れる。過去の対策が実践できていなかった。12/20歩行器とともに転倒。睡眠不足でふらつきがあったことや、靴のサイズが合っていないことが原因。靴の見直し、夜間の睡眠状態の確認を行って行く。

(P10) 12月12件のヒヤリハットがあった。12/5薬がセットされていない。薬の準備の際にダブルチェック、声出しによる確認を行って行く。12/13入居者が入居者のトイレ介助をしようとしていた。そわそわしだす等トイレのサインを見逃さないよう様子観察して行く。12/28歩行器を忘れ独歩で移動。声かけ、付き添い歩行を行って行く。対策を周知徹底する。

(P11) 1月16件の事故があった。1/8服薬忘れ。眠前薬をタンスの上に置き忘れた。拒否等があり飲まなかった薬はスタッフルームに持ち帰り申し送りをする。1/18離設。ベランダに入居者が出ていた。入居されたばかりで行動パターンを把握できていなかった。情報共有、施錠の確認をして行く。1/22独歩で移動し転倒。車いす移動になってから夜間起きることは一度もなく、廊下まで独歩で出てくることは想定外だった。居室環境の見直しを行い、ベッドの高さを低床にする。

(P12) 1月9件のヒヤリハットがあった。1/4薬がセットされていない。対策を周知徹底する。1/11朝食後薬と昼食後薬がいっしょにセットされていた。対策を周知徹底する。1/22入居者が入居者の酸素の機器を持ち上げようとしていた。機器の置き場所を決め見守る。

(P13) 1/22に発生した事故について。家族への事故報告が受診の連絡と同じタイミングだったことに対し、事故報告は優先して行われるべきではないかとの指摘がある。事故発生は23:10頃。夜間オンコールマニュアルにそって、痛みが自制内だったため経過観察とする。翌朝申し送りはあったが、業務を優先したため家族への事故報告が遅れ、11:22受診連絡と同時の報告となる。対策として、朝礼後に事故の情報を共有し担当者を明確にしたうえで、受診の有無に関わらず9:30頃までに家族に報告する。また、家族連絡を行ったかを他部署間でも共有する。

⑤ (P14) 今年度の取り組みと成果

資料に沿って説明を行う。

大学生の実習、高校生の施設見学があった。福祉体験を押部谷小学校・桜が丘小学校で行った。月が丘ふれあい運動会では、企画から参加させていただいた。沖縄民謡、月が丘からコーラスのボランティアに来ていただいた。施設周辺の草刈り、伐採を行った。ざっくばらんな雰囲気の中、家族会を開催した。

(P15) 介護部門の取り組みについて。目標には達していないが、水分摂取量の増加に取り組んだ。今後も継続していく。朝日を浴びる習慣は、目に見える成果はないが継続していく。インカム増設により、密な情報共有ができていく。眠りスキャンが65台から100台になり全入居者に導入された。居室内の乾燥対策の実施、感染症予防のため換気を行った。ユニットごとに家族会、食事レクリエーションを開催した。1/24ダリアの家族会で全ユニット終了した。徘徊などの行動に対し「なぜ」に着目しケアを考えた。今後も継続していく。

⑥ イベント内容報告 (P16~18)

写真で紹介する。

各ユニットで家族と一緒に食事をとり、その後ユニットごとの家族会を開催している。

(P16) 12/13 ヒマワリユニットで豆乳鍋・醤油鍋を家族といっしょに作って食べ、盛り上がった。各部署で協力している姿を見て、職員間の仲がいいことがわかったと家族に感想をいただけた。

(P17) ダリアユニットではフォー（ベトナムの料理）を職員が作り食べていただいた。

(P18) 12/21 クリスマス会ではコーラス、サンタからのプレゼント、ケーキバイキングを家族とと

もに楽しんでいただけた。

(P19) 元旦にはお屠蘇、三が日はおせち料理でお正月を迎えた。

⑦ 研修・委員会活動 (P19)

資料に沿って説明を行う。

事故リスクマネジメント委員会の研修では、危険予知トレーニングを実施した。ユニ・チャームによるスキンケア研修では陰部洗浄の方法を学んだ。消防訓練では、煙体験・屋内消火訓練を行った。外部研修では、幹部候補者マネジメント研修、認知症実践者研修を受講している。

(2) デイサービスセンターさくらさく (P21～28)

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況 (P22)

登録者数は 30 名 (男性 11 名、女性 19 名)、平均介護度は 2.0、平均年齢は 84 歳となっている。女性利用者の割合が高い。

② ご利用者概要について (P23)

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では押部谷が多く、地域に根差している。回数は週 2～3 回の方が中心。要介護度は 1～3 の方が中心。要介護 5 の方の利用はない。予防の方は 2 名利用されている。

③ 稼働率について (P24)

目標 75% に対して、平均 90.8%。冬場は体調不良で休まれる方が多いが、12 月 89.3%、1 月 83.3% と目標を達成している。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細 (P25)

12 月ヒヤリハットが 1 件あった。多目的室でのリハビリを終えフロアに戻る際に見守りが不十分だったため、利用者が一人でエレベーターに乗り 1 階に下りた。移動時の見守りを強化する。1 月ヒヤリハットが 1 件あった。利用者がテーブルの上に注射器セットを置いていた。同居家族の医療物品を鞆に入れ持参していた。家族へ保管方法の見直しを依頼する。荷物の確認を行う。

⑤ イベントと活動内容報告 (P26)

写真で紹介する。

ぜんざい作り、クリスマス会、書初め、運動レク、福祉ネイルの様子を紹介する。

⑥ 認知症カフェの開催・地域活動 (P27)

12/26 クリスマス会を開催する。1/23 馬場施設長が講師を務め認知症サポーター養成講座を開催。9 名の方に参加いただいた。次年度も継続して行っていきたい。さくらカフェでは介護相談、フレイル予防体操など、今後もイベントを企画している。

⑦ その他 (P28)

介護保険外サービス費用について、変更なし。

3 その他 (質疑応答)

(1) A 委員：丁寧な報告ありがとうございます。研修について質問します。事故リスクマネジメント委員長は研修に参加しているのか。テーマは何か。参加人数は全体の何%か。具体性を持たせるため数字で示してほしい。

【回答】委員長も参加している。全体の 8 割が研修に参加できている。業務の都合で参加できなかった職員にはレポートを提出してもらっている。

A 委員：委員長は施設全体として考えないといけない。安全な生活を確保する上で事故の検証・対策は欠かせない。研修の中で出た意見は施設長に報告し共有してほしい。

押部谷福祉センターでの認知症サポーター養成講座に参加した。内容は非常に良かったが、本当に必要な人により多く参加してもらえるよう開催場所の検討が必要かと思う。

【回答】次年度は広報活動に力をいれていく。場所の検討もしたい。

(2) B 委員：認知症サポーター養成講座について、月が丘福祉センターでの参加者は多く、20名で募集しても20名以上の参加がある。美穂が丘も参加希望者が多いので、検討していただきたい。社協にもお願いしているが、こちらにも参加できるように調整していく。

【回答】よろしくお願いします。

(3) C 委員：桜が丘はなかなか出て来られないので、市住で開催してほしい。自治会館が使えないので市住かコープでお願いしたい。認知症で家の方が困っていることが多い。徘徊で秋葉台で保護されたという話も聞いている。認知症の方への声のかけ方など、教えていただきたい。8年度は企画したいので、あんすこにもよろしくお願いします。

(4) B 委員：水分摂取について引き続き対応を考えてほしい。水分不足が認知症につながっていくのでよろしくお願いします。朝日を浴びると幸せホルモンが出ると言われているので、施設にいる人も幸せを感じられるよう継続してほしい。運動会では楽しい企画を考えていただき、いつも協力いただきありがとうございます。

(5) C 委員：桜が丘の市住に関して、引っ越し、強制退去もあり大変だった。5年後に退去と言われているが、行き先が決まってない方一人暮らしも多く問題が多く残っている。

認知症サポーター養成講座の参加人数が少ないことが残念。

【回答】桜が丘に関してはこちらから行かせていただく。今回は案内も遅かったなので、今後は早めに案内できるようにする。

(6) C 委員：この地域全体が高齢化している。認知症の問題は避けて通れない。さくらカフェに新しい方が参加してもらえるようにしてほしい。

(7) D 委員：事故に関し、薬にまつわることが多い。同じことが起こらないよう、安心して暮らせるようにしてほしい。家族参加の行事や家族とのコミュニケーションがとれるよう、日々工夫されていると感じた。地域にも貢献されている。

【回答】次年度もいっしょにさせていただきたい。

服薬方法、マニュアルを写真で周知できるよう対策しているが、ミスが起きている。今の方法で間違いがないのか確認していく。

4 最後に

施設長挨拶：事故の内容では、転倒事故が6割を占めている。ヒヤリハットの件数が少ないため、職員が気付きやすい環境づくりを進めていきたい。過去の事故を見直すと対策が周知できていない場合が多い。苦情の件に関して、各部署が集まって検討し、家族とも数回面談している。初動対応に不備があったことが原因となっているため、同じことが起こらないよう学ぶ機会になった。水分摂取や朝日を浴びる取り組みについて、結果や効果が十分に共有できていない。水分摂取は飲むことが目的ではなく、脱水、認知症の進行、栄養不足の予防のため勧めている。摂取困難な方にどう対応するか、その方にとって適切な量かの確認も必要。家族会に関して、家族との距離を縮め信頼関係を築くことが目的の一つ。また、お元気な時から看取りの話ができるよう人生会議を勧めている。特養入居者で2割の方が看取りに合意されている。認知症サポーター養成講座では、お時間いただきありがとうございます。地域で認知症の方をどう支えていくか。施設としてどう関わっていくか。今後もより一層考えていきたい。来年度も引き続きよろしくお願いします。

次回開催予定：令和 8年 4月 16日（木） 10:30～11:30

出席者

（第三者委員）

世良 英雄	押部谷東ふれあいのまちづくりの協議会 顧問
小川 薫	月が丘自治会 会長
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
納見 年子	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長
福田 昌代	押部あんしんすこやかセンター

（櫻ホーム西神・デイサービスセンターさくらさく）

福田 庸二	事務局長（法人本部）
馬場 宏知	総合施設長
内田創一郎	デイサービスセンターさくらさく管理者
北野 諭士	施設課長
田中 雅臣	介護副主任
松崎 淳子	施設主任介護支援専門員

（居宅介護支援事業所さくらさく）

別府 美保	居宅介護支援事業所さくらさく管理者
-------	-------------------